

# 広報 いまり

発行 昭和57年8月1日 伊万里市役所総務部秘書課 電話32111 定価848

No.342

## 美しい天然 輝く緑の溪谷

ふるさとの自然を守る  
子どもたちの心に  
すくすくと育つ郷土への愛

(大川内山キャンプ場で緑の少年団の清掃奉仕活動 7/8)

'57

8月

〈人口〉 男29,226人 女32,306人 計61,532人 (前月比+39人) 〈世帯〉 17,063人 (7月1日現在)

# 待望の大型企業誘致に成功

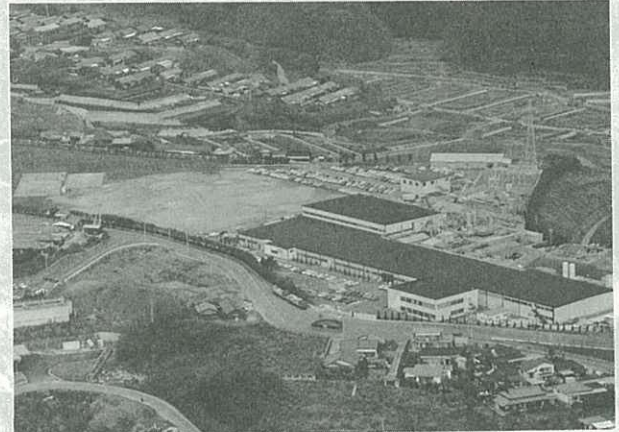
## 九州電子金属が東山代町長浜に進出

新年1月号広報、年頭のあいさつで竹内市長は、未来の先端産業を開拓するため、IC産業などの企業誘致を実現したいと述べていましたが、このほど大手半導体金属シリコンメーカー九州電子金属株式会社（池島俊雄社長、資本金6億円、本社杵島郡江北町）の伊万里進出が決まり、今後用地の買収を進めることになりました。

昭和52年の第2次オイルショック以来、景気が停滞し企業の地方進出が見あわされているなかで、昨年の6月里団地に陽和

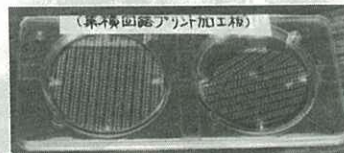
産業、今年の1月久原にセメントサービス・ステーションの2社が立地決定しましたが、今回は47年名村造船所以来の大型企業の進出で注目を集めています。

九州電子金属株式会社は、大阪チタニウム製造㈱（本社兵庫県尼崎市）と住友金属工業㈱



▲良質な水を必要とするIC工場(杵島郡江北工場)

(本社大阪市)との共同出資により、昭和48年8月杵島郡江北町に建設された企業です。従業員数800名で、半導体金属シリコンを製造、年間売上高は、150億円となっており、シリコンウェーハ（半導体の回路をのせる基盤材）の製造では、現在世界第4位です。IC産業は、年率20～30%で成長しており江北工場では需要に追いつけなくなりました。



◀左シリコンウェーハと右、加工された集積回路とタイピン。

九州電子金属はシリコンウェーハというIC産業の基礎となる製品をつくる会社で世界的に注目されている先端技術産業であるからアメリカからも誘いがかり、国内は全国から特に東北と九州からは猛烈な誘致運動があったようである。しかし、そのような中から、わが伊万里市を信頼して決定されたことは、無上の喜びである。

何よりも第一次計画で六百名という採用人員で、公害はなく、しかも将来とも世界を先取りする企業であるから、これによって伊万里市の産業構造もその質が上がり、さらに伊万里市の名の浮揚にもなる。

私はオールド・イマリの名声を復元するようニュー・イマリの建設に努力しているが、伝統工芸の伊万里焼にあわせて世界の技術の先端産業であるIC産業が立地することは、その実現に向けて何よりの手がかりであり、海洋温度差発電と共にこれからの時代に対して教育水準の向上にも資する専門校の誘致などあわせ考えていかねばならない。

(竹)

## 伊万里工場の概要

商 号 九州電子金属(株)  
伊万里工場(仮称)  
建設計画 位置・東山代町長浜  
建設用地 第1期計画約82,500㎡  
(約25,000坪)将来は  
工場拡張の予定あり  
設備投資額 累計投資額180億円  
操業開始 昭和58年6月(予定)  
生産品目 半導体金属シリコンウエーハ  
従業員数 約600名(男60%女40%)

## IC(集積回路)とは

ICは集積回路のことで、電流を増幅したり、制御したりする多数の電気回路を集積させたものです。

わかりやすくいえば、昔の真空管の役目を果すものと考えてよいでしょう。

ラジオの中には、必ず真空管がありました。トランジスタの発明で真空管がなくなり、より小さいものが作られるようになりました。もっと小さくと言うことでシリコンを使ったICが実用化され、さらにLSI(超集積回路)へと年々小さくなってきています。

真空管の5万から8万本分の

役目を3ミリ角の集積回路で行ないます。

ICの用途は広く、テレビ、ラジオ、電子レンジなどの電気製品から、宇宙開発、航空機、コンピューターには欠かせないものとなっています。

## 先端産業として波及効果大

IC産業は、先端産業として技術の集約度が高く、現代の成長産業で、関連産業への波及効果が極めて大きな産業です。

伊万里市に決まるまでには、激しい誘致合戦が展開され、九州各県、国内各地はもとより、アメリカからも誘致の働きかけがあったそうです。



▲チリひとつない清潔な作業環境

市長を先頭に強力に誘致をすめた結果、進出が決まりました。

雇用力と将来性のあるIC産業の進出は、伊万里市発展の原動力となり、市勢の浮揚が大いに期待されます。

地元地権者の協力を得て、一日も早く操業が開始されることが望まれています。

## とどけ平和への祈り

9日 長崎原爆投下の日  
15日 終戦記念日

37年前の8月9日、長崎市に原子爆弾が投下されました。

私たちは、被災で亡くなられた方々のごめい福を祈るとともに、37年を経過した今なお原爆病のため闘病生活をしておられる方々の1日も早い回復と、いつまでもこの平和が続くことを願うものです。8月9日、午前

11時2分に一齐にサイレンを鳴らします。

市民の皆さん、この時刻に1分間の黙とうを捧げましょう。

また、8月15日は終戦記念日です。戦争で亡くなられた多くの方々の霊を悼み、平和の誓いを新たにすため正午を期して1分間の黙とうを捧げましょう。

今年三月二日の朝、東山代町長浜の干拓に二十一羽のツルが舞い降りた。そして四月の「せいらい」に昨年末からのいい兆しに天地自然の現象までが吉兆を保証してくれているように思う、と書いた。それから数ヶ月、そのいい兆しが現実となって去る七月五日、九州電子金属株式会社から長浜に進出決定の通知をうけた。会社側には数か所の用地を見てもらったが最終的に長浜が選ばれた。早速、長浜と日尾地区にお願ひに行ったところ両地区とも誘致推進に全面的に協力することであった。ただ両地区ともこれまで企業の進出で用地の提供をいたゞいており、大事な先祖伝来の土地権者の皆さんの温いご理解をえて今後用地の話し合いにはいらねばならない。



● 秘窯の里



▲三百有余年の歴史と伝統が息づく大川内山

# あなたと考えるキャンペ 食べる観光地を

私たちの伊万里をより豊かに、暮らしをより快適にするために6万市民総市長アイデア運動を展開しています。そこで地域の素材を生かした特色づくりの中で転作の農産物加工や郷土料理を生かした食べる観光地づくりについて考えてみましょう。

## みんなのアイデアで ふるさとの活性化を

▼今年のコンクールで入選したポスター



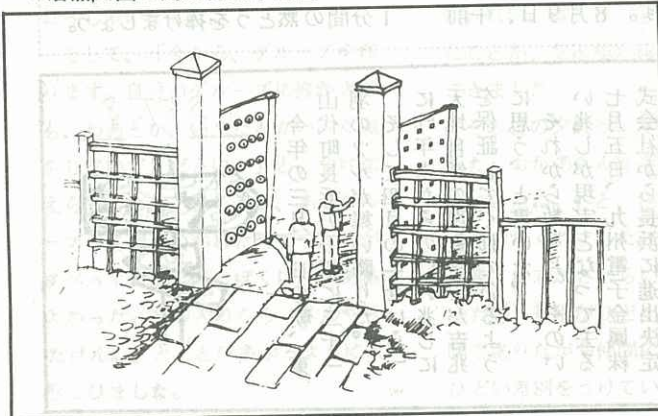
フルーツと焼き物の里いまり  
一この焼き物の里、大川内山に鍋島藩窯公園の計画が進められています。藩窯公園には関所や登り窯、御細工場、水車小屋を再現したり、関所では焼き物の通行手形を渡すなど楽しい計画があります。これは本格的な歴史観光の拠点として58年に完成する厚生年金休暇センターの大型宿泊施設とあわせて滞在型観光を進める上で大いに期待されています。また、巨峰ぶどうや梨狩のフルーツ観光に加え、南波多では、肥育牛の畜産があ

り、波多津では、くるまえびの養殖が計画されています。そこで各町での特産品づくりを進める中で新たな観光資源として食べる観光地づくりが考えられています。

これからの観光は、農業や漁業、商工業の方面からの多面的な取り組みが必要です。

美しい自然を生かし、埋もれた歴史を顕彰し、さらに食べる観光地づくりにより総合的な観光をめざして、市民一人ひとりがアイデアを出し合ってふるさとの活性化を進めていきましょう。

▼藩窯公園の関所再現予想図



● 厚生年金休暇センター完成予想図



# くろう



伊万里を観光で訪れる人は年間55万人と推定されていますが、今、本市の観光は大きな跳躍の時を迎えようとしています。そこで市民の意見を聞いてみました。

## 郷土料理を見直しては

元町 岩本和子さん

以前文芸春秋の講演会で伊万里に来た杉本苑子さんや笹沢佐保さんが、たにし料理を食べてたいへん喜ばれたそうです。昔は4月の節句といえはたにし料理でした。今ではこんな郷土料理もだんだん少なくなっていますね。それから大川内山に食堂がないのも困りますね。谷川には沢ガニがいるし、てんぷらやガニ漬けはおいしいんですよ。

それに川魚料理なんか龍門に負けないものがあれば、景色もいいし繁盛するのではないのでしょうか。話は変わりますが、重橋の和紙なんか県外の方が有名ですね。和紙はブームでもあるし、名刺や賞状用紙などいろいろ加工できるし、小売や加工製品にも力を入れて欲しいですね。

▼市民の憩の場 渭水菖蒲園



▶供日の最大の呼び物「川落し」



▲初めての梨狩りに歓声をあげる子供たち



## 観光行事はみんなの力で

市観光協会 島田清次さん



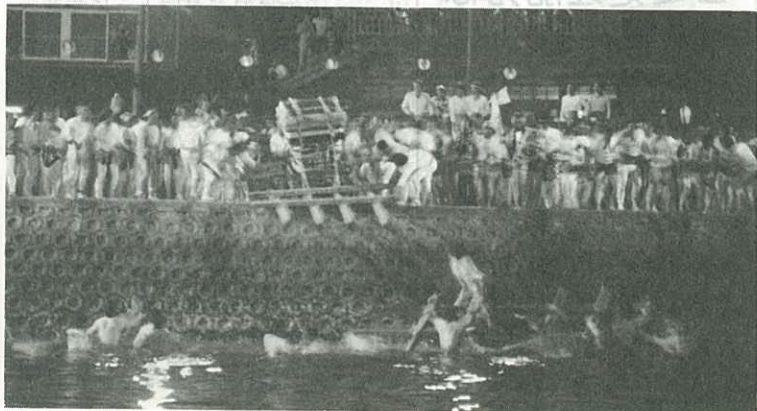
この前のホテル列車は、人に聞けば終戦直後の列車のような混みようだったとか…8月10日には玉屋裏の伊万里川で恒例の花火大会を開きますが、家族で手軽に楽しめる行事には人気があるようです。

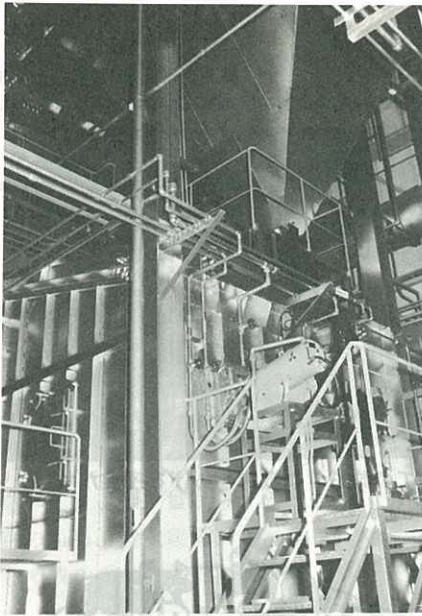
観光協会を訪ねてくる人は、伊万里が海辺なので活魚料理の店を聞く人が多いですね。それに町の中の名所、旧跡をきかれ

ますが、白壁土蔵も少なくなった今、伊万里津歴史公園のミニチュアでもあればいいんですが。

最近は焼き物を目当てにくる外人も多いし、その点藩窯公園ができれば、もっと客がふえるでしょう。

これからの観光行事は、農家も商工業者も一緒に協力して、みんなで盛りあげていくことが必要ですね。





▲最新式の焼却炉2基が設置

私たち消費者団体のさつきグループは、環境週間の6月16日、新設された黒川町立目の環境センターを見学しました。

第1印象では、ほんとうに良い環境の中に近代的でりっぱな施設だなと思いました。

まず研修室に入って電図板(?)で燃えるごみの焼却経路、燃えないごみの処理方法など、あらかじめ説明を受け、実際に稼働している所へ案内されました。

始めに入った所は一階の広い土間で、7～8人の人が燃えないごみを袋から出して一つ一つ

## ゴミ処理能力は

焼却施設……60t/16時間  
可燃性粗大ごみ切断機

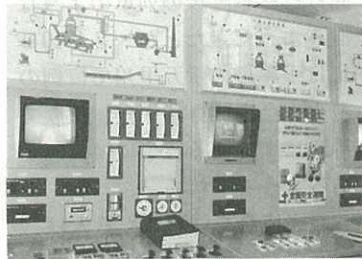
……800kg/1時間

粗大ごみ破砕機20t/5時間

埋立処分地容量…70,000m<sup>3</sup>

※現在の1日のごみ量は…  
可燃物20トン、不燃物10トン  
ですので十分にまにあいます。  
家庭での分別にご協力  
ください。

区分けしていました。不燃物の袋の中に燃える物がたくさん入っているのです。そこは悪臭がひどく、ほんとうに大変な仕事だと思いました。それも消費者一人一人が、ちょっとした注意、規則を守る事によって、ガラス



▲モニターテレビを設えた制御室

類、缶類とはっきり区別し、燃える物は混ぜないように注意さえすれば、その手間がはぶかれ能率的に処理できるのではないか、と思いました。特にプラスチック、セルロイド類が不燃物と勘違いされているのが目につきます。

そこを出て上に行きますと、操作室では、攪拌から焼却炉に入れるまでクラッチ一つでクレーンを操作しています。次に管

制室に行きますと、テレビに1号炉、2号炉の燃え具合がはっきりと映し出されていて、施設のすばらしさには、ほんとうにびっくりしました。

それからもう一つ感じた事は粗大ごみの山です。この中にはまだまだ使えそうな物が数多くあります。ふたまでついたりりっぱな鍋、やかん、それに2ドア冷蔵庫、ストーブなどなど…

冷蔵庫は私が使っている物より外観は、はるかにりっぱです。

今、店先には新製品もたくさん出まわってはいますが、古いお鍋でも使える間は、大事に使う心掛けも必要ではないでしょうか。



▲説明を受けるさつきグループの皆さん

※生ごみは水をよく切って青袋へ入れましょう。

ママさんレポート

## 環境センターを訪ねて

新天町 徳永節子さん

市内9つの消費者団体のうち、さつきグループが黒川町の環境センターを視察しました。そこで代表の徳永さんに主婦の立場から見た感想をのべてもらいました。



# 福岡先生の頌徳碑完成

## 大川内山キャンプ場開き

大川内山、キャンプ場の育ての親、福岡良一先生の功績をたえる頌徳碑の除幕式とキャンプ場開きが、7月15日現地で行



▲キャンプ場横に完成した頌徳碑

われました。キャンプ村は、大川内山の福岡良一先生が昭和26年開設、昨年1月亡くなるまで30年間お世話していただきました。

頌徳碑の建設は、市観光協会長力武正雄さんが寄付を募り建設したものです。除幕式のあと、山開きが行われましたが、今年も子供たちの歓声が静かな山あいには響き渡ることでしょう。



6月

貿易実績は10億3,934万円で前月比2億3,980円の減。

【輸出】 なし

【輸入】 10億3,934万円

【船舶の入港】 14隻

(日本船2隻、外国船13隻)

【外国人上陸許可者数】 296人

(フィリピン108人、中国30人、韓国75人、インドネシア15人、英国40人、シンガポール21人、ノルウェー4人、ドイツ2人、ニュージーランド1人)



8月1日～31日 道路をまもる月間

### 地区別飲酒運転検挙者数

(S 57.6, 30現在 伊万里警察署調べ)

地区名	1月～5月	6月	累計
伊万里	1	0	1
大坪	5	3	8
牧島	5	0	5
立花	8	3	11
大川内	3	1	4
黒川	7	3	10
波多津	2	1	3
南波多	1	0	1
大川	3	0	3
松浦	4	0	4
二里	3	2	5
東山代	3	3	6
山代	6	5	11
市外	11	3	14
計	62	24	86

## 育てよう正しいマナーできれいな道路

道路は、いつも広く、正しく美しく、安全に使いましょう。

今月は「道路を守る月間」です。

△道路の保全に心がけ、路上での作業や積載物の落下に注意。  
△道路上に自転車や商品、広告物などを置いたり作業場として

て使用しない。  
△路上に土砂、ゴミ、空カンなどを捨てない。

※道路に隣接する土地の埋立、土砂の切り取り、家屋の新改築などで、道路敷を占用するときは、道路管理者への届出と許可が必要です。

## 江頭順二氏が

### 勲五等双光旭日章



このほど、幸善町の江頭順二氏(71歳)が、勲五等双光旭日章を受賞され、6月25日、伊万里玉屋で祝賀会が行われました。

江頭さんは、町会議員から市会議員まで5期、25年にわたり地方自治の向上に尽力され、特に、炭坑閉山後は、産炭地振興対策や伊万里湾開発の特別委員

会委員長として、不況からの脱却に力をつくされ、また戦後から30数年、地域の商工会の基盤整備充実のため、卒先して、すぐれた指導力で、これ一筋に尽力されてきました。

なお、江頭さんから受賞を記念して、ふるさとづくり基金へ50万円の寄付をいただきました。



▲吉永先生



# ほほえみ

## 中国カブトガニ記行 (一)

伊万里高校教諭 吉永源三郎

筑波大学関口晃一教授を団長に、<sup>カブトガニ</sup>鯨日中学術交流団の一行7名は、6月19日より10日間の日程で中国福建省の<sup>あかい</sup>廈門を訪ねた。

大阪空港から一路上海へ。上海では中国青年連合会の揚志強氏が案内と通訳を兼ねて同行。

翌日福建省へ。機内の外国人は私達だけで異国に来た実感をしめじみと味わう。

廈門までは車2台で7時間の旅。車窓よりのどかな田園風景の中にも近代化の進む建設の槌音が聞こえ、道を走る自転車の洪水、わがもの顔のテーラー、8軒おき位に点在する市場でみる人、ヒト、人の波に驚く。

廈門は、華僑の故郷として栄えた所で海外での成功者達の寄贈によって市の施設、学校、建造物は万里の長城を築いた国柄だけあってやることなすこと規模が大きい文化都市である。

大学は中国十全大学の一つで教授はもちろん施設、設備の完備した学校で、海洋系の研究討議の後、標本室などまわったが貴重な珍しいものばかりだった。日本では天然記念物として既に死滅した「ナメクジウオ」の標本を土産にもらう。

洪教授一行の案内で集美海岸



▲カブトガニの産卵地であるアモイの集美海岸

の産卵地を観る。中国は文学の国といわれるが、その名の通り大変美しい海岸である。

長い瀉地の先に、日本では考えられないことだが、一日に数時間が海面より露出するような砂地に卵をみる。船まで用意していただいたのに満潮時は折悪しく風雨が強く産卵している様子は見ることができず残念であった。なおカブトガニは日本のものと全く同じ種類だ。(続)



## 私の職場

商工観光課 深浦弘信(26歳)

課内の係は、商工業振興係と観光係がありますが、昭和55年には、企業誘致を強力に進めるため企業誘致准進室が設置されました。企業誘致では、本年3月から操業を開始した陽和産業に続いて、7月にはIC産業の九州電子金属が進出することになり、明るい話題を提供しています。

私の係である商工振興係には

松浦線存続期成会の事務局があり、存続のため全市を挙げて利用促進の運動をくり広げていますので、市民のみなさんご協力をお願いします。

私の職場は、商業から観光までと幅が広いうえに対外的な仕事が多く、各種団体とのつながりが、とくに大切ですが、たいへんやりがいもあります。

今後も伊万里の浮揚をめざして、少しでも役に立てるように頑張るつもりです。

みなさんご存知のように、本市はオイルショック以来、昭和53年には特定不況地域に指定されるなど慢性的な不況下であり、私の所属する商工観光課では、目下この不況から本市経済を浮揚させることに努力しています。





# ひろば No.10

朝顔につるべとられてもらい水 千代女

この頁は市民の皆さんが作るページです。  
皆さんの自由な作品や声をおよせください。  
おまちしています。

伊万里市立花台1丁目1番1号 秘書課 広報係まで

## いまり歴史散歩 その8

### 里の大名小路と田尻氏

郷土研究会 森 清次

小笹の生け垣が約300mつく。里の大名小路のなごりである。なお進むと大久保三差路に出る。この地点から100mほど右斜め前方に田尻氏の菩提寺曹洞宗玉雲山親種寺がある。

開基は田尻丹後守鑑種、開山は、郷土の名僧不鉄桂文和尚で、創建は天正17年(400年前)筑後三池、田尻村鷹尾城中にあった寺を現在地に移したものである。

田尻氏は家系によると漢の高祖の末裔で斉明天皇(1300年前)の時、帰化したといわれる。その後子孫は九州で豪族となり、筑後に勢力をひろめた。

田尻親種(鑑種の父)のころ世は戦国争乱群雄割拠の時代で、九州では大友宗麟をはじめ島津、有馬、竜造寺、鍋島などが互いに勢力を競っていた。これらの中であって、田尻丹後守鑑種は、筑後鷹尾城24万石の領主一代の英雄として武を錬り、結束強さすがの大友、竜造寺も田尻には手が出なかった。しかし天正10年8月瀬高川の川狩りのくわだてに竜造寺、鍋島の計略にあい、一戦に破れ鍋島直茂の家来になった。天正15年、豊臣秀吉は島津征伐のため九州下向の折、鑑種の人物力量を見抜き、謁見のうえ主人直茂と同等の待遇を



▲右から親種公と鑑種公夫妻の墓

する所存であったが、鑑種は、「今は直茂公に仕える身であるので、主人と同じ恩典に浴することは僭越である」と秀吉の謁見を辞退した。

寛永4年、鍋島勝茂の長子元茂、小城に支藩を設置することとなり、鑑種の孫昌種(父は春種)は特別の待遇をもって召しかかえられた。鑑種は鍋島にくだった後、鷹尾城を引きあげ、小城領山代の地に1,650石を与えられた。のち小城の上屋敷、大久保鹿山に下屋敷を建て、里の地に一条の大通りをつらぬき両側に並ぶ家は、小笹の生け垣で囲わせ、南北に小路を通し、整然と大名小路の形をとった。

天正17年、筑後よりこの地山代へ引越しの時、鑑種に従って来た者66名は、里を中心にこの地で半士半農の自活の道をたてることになった。現在、里一帯にこの66名と姓が同じ者が多いのは田尻の一族の子孫であることは疑う余地がない。

## 今日は ほほえみさん



黒川町大黒川  
福川和賀子さん

(S29年生)

連合青年団の事務局に勤めています。ジャズやニューミュージックが好きで書道が得意。

(やりたい事) アメリカ旅行

(モットー) 人間は一人では生きられない事から和を大切に。

(理想の男性像)

人間味豊かなやさしい人。  
古風な感じと現代的な感じがマッチした素適なお嬢さんです。



▲大名小路の面影をのこす里の生垣

# ありがとう あなたの善意

## 心あたたまる町の話

～その43～

### 手づくりの木を植える

### 緑のおじいさん

波多津町中山の古賀定さん(63歳)は、手作りの苗木を公共施設や個人の庭に植え地域の皆さんから喜ばれています。

庭木を育てることが好きな古賀さんは、山の下払いに行き庭木になりそうな木があるとせん定して仕立てていました。農業経営を息子さんに譲った10年前から暇もでき、みかん園の防風林に植えていたマキを庭園用に仕立てたのが本格的な始まりで、マキ、モッコク、ツツジ、サザンカなどたくさんのお木を育てています。

この苗木を区の運動広場や神社などに、また中山区40戸のうち30戸の庭に植えてやり、その後も各家を回って毎年せん定もしています。

中山区の家々の庭には、古賀

さんが仕立てた兄弟の木がすくすくと育ち、緑の木がとりもつコミュニケーションもでき、地域の皆さんは緑のおじいさんに感謝しています。

▼戦史「砲煙シッタンに消ゆ」

▶マキの手入れに余念がない古賀さん



## あの人この人

No.14

### 戦友の追憶に夜香花を育てる

黒川町塩屋 松尾茂男さん(63歳)

ビルマの戦地で帰らぬ人となった戦友に手向けてきた、ジャングルに咲く「夜香花」を英霊への供花、追憶の花として育てられます。

ビルマで亡くなった旧日本兵は、18万人と言われますが、負け戦になり、撤退に撤退を重ね飢えと病気と疲労のため戦友や軍馬が次々に倒れていった。

戦友を弔ってやる時間の余裕も体力もなかつ

た。ジャングルに咲く夜香花を亡きがらに手向けて別れた。地霊となった戦友のことが忘れられず遺骨収集団が持ち帰った夜香花を育て亡き戦友をしのんでおられます。

松尾さんが属していた菊山砲5中隊は、388名。そのうち帰国した者は、わずか20名でした。

戦地で亡くなった戦友の肉親縁者の方々に真実の状況を知らせ、後日子どもや孫が我々が青春時代の実態を理解し決して戦争を繰り返さないよう、松尾さんと12名の戦友で、戦地の記憶や収容所でトイレの紙に寸暇を惜んで記入したメモをもとに戦史「砲煙シッタンに消ゆ」が発行されています。



▲夜香花を横に松尾さんと孫の展久ちゃん



▲大川内山キャンプ場びらき (7/15)  
サワガニやかじかの囀く大川内山は子供たちに人気があり、15日にはキャンプ場開きがありました。

# いま伊万里で



▲家庭婦人ナイターバレーボール大会式(7/7)  
年々盛んになるママさんバレーボール、今年は、24チーム、360人が参加して熱戦を展開しました。



▲またさっともどってきます私の伊万里へ(7/4)  
ロータリークラブの交換留学生アリソン・パーチさん(17)が米国へ帰国のあいさつに市役所へ。



▲佐賀県母子寡婦福祉大会開かれる(7/18)  
母子及び寡婦福祉法制定記念の県大会が市民会館で開かれ、会員の体験発表などがありました。



▲田中裕美ちゃん入選おめでとう  
健康作文コンクールに波多津小学校3年の田中裕美ちゃん(8才)が入選しました。

▶伊万里湾に化学消防船(6/22)  
奈雅井商会のめづら丸が伊万里湾に登場。海上の防災に活躍します。



# 土地・家屋を市へ寄贈

黒川町出身の吉田さん



黒川町浦分出身で、現在佐賀市に住んでおられる吉田元治さん(77歳)は、19日、4200万円相当の土地、家屋をふるさと伊万里市に寄付されました。

吉田さんは、黒川高等小学校を卒業後、裸一貫から、外国航路の船員、食堂経営、金融業などで成功されました。

老後は、生まれ故郷で暮らそうと5年前、黒川町に家を立てられましたが、佐賀に住むことになり、子供もいないため、その土地、家屋を市民の皆さんに役立ててほしいと寄付されたものです。

郵便はがき

40

□□□□

## トンテントンはがき発売中

トンテントンの合戦をカラーで印刷した官製はがきを発売中です。ご希望の方は、商工会議所、観光協会、伊万里郵便局や伊万里町内の切手売り場でどうぞ。1枚40円です。

## 緑の相談開設

市役所では、8月から毎週木曜日に緑の相談を開催します。

気軽にご利用ください。

- ▲内容 植付、選木、施肥など
- ▲相談日 毎週木曜日  
午前9時～午後4時
- ▲場所 市役所市民相談室
- ▲相談員 大野繁夫(松浦町)

## 特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について人権擁護委員と法務局職員が相談に応じます。

### <大川会場>

- ▲日時 8月6日(金)10時～15時
- ▲場所 大川公民館
- ▲担当 高添門司氏

### <伊万里会場>

- ▲日時 8月17日(火)10時～15時
- ▲場所 市役所市民相談室
- ▲担当 池田一郎氏

### <山代会場>

- ▲日時 8月26日(木)10時～15時
- ▲場所 山代公民館
- ▲担当 水上房代氏

## 訪問販売110番を設置

訪問販売をめぐる苦情が続いています。

このため「訪問販売110番」を7月15日から設置し、県下一斉に悪質訪問販売追放運動を展開しています。



市民相談室

③ 2111 内線 225  
226

開しています。

こんなときは佐賀県警 110番へ ☆消費者の意に反して長時間居座り続けたとき。

☆消費者の意に反して路上でキャッチセールが行われたとき。 ※トラブルが起きたら県消費生活センターか市役所市民相談室までご相談ください。

◎解約したい場合は、契約日を含め4日以内に書面を内容証明郵便で発送しましょう。

## 危険住宅移転に補助金

台風や大雨の季節になりましたが、あなたのお住まいは大丈夫ですか。

市では、かけ地崩壊などによって家屋が倒壊し、生命に危険を及ぼす恐れのある区域にお住まいの方が、住宅を移転される場合に、補助金を交付する事業を行っています。

災害が起こってからでは取り返しのつかない、大切な生命。

万一の場合を考え、この制度

の利用をご検討下さい。

詳細についてのお問い合わせは市役所建設課管理係

TEL③-2111 内線334へ



# おしらせ



## 夏休みジュニア切手展

8月21日～23日玉屋で

伊万里郵便局は、めずらしい外国切手や切手の移り変わりを紹介する夏休みジュニア切手展を開きます。

また、市民の皆さんから切手収集の作品を募集しています。

▲日時 8月21～23日 10時～16時

▲場所 伊万里玉屋5階ホール

▲募集 どなたでも応募できます

▲受付 8月1日～8月20日まで

▲受付場所 伊万里郵便局郵便課  
応募作品は切手会場に展示。

※問い合わせ先

伊万里郵便局郵便課 ☎③ 3006

## 日本ブラジル50周年記念論文

日本とブラジルの経済、文化交流を促し、両国間の相互理解と親善に努めてきた日本ブラジル中央協会は、設立50周年を記念して懸賞論文を募集します。

▲テーマ 「21世紀に向けて、これからの日伯関係」

▲言語 日本語

▲字数 400字詰原稿用紙20枚

▲募集対象 一般人(在伯日系人含む)

▲募集期日 57年9月末日まで

▲応募規定 表紙に論文の題名、氏名、住所、電話番号、年齢、職業を記載してください。

▲賞金 最優秀論文(1篇)30冊  
優秀論文(2篇)10冊

▲選考 10月中旬

▲送付先 東京都港区新橋1-17-1  
新幸ビル 社団法人日本ブラジル中央協会 ☎03(504) 3866

## アマチュア無線講習会開催

アマチュア無線技士(電話級標準コース)講習会の受講者を募集します。

▲日時 9月25日～10月24日までの土、日曜日

土曜日 6時30分～9時30分

日曜日 9時～16時

▲定員 70人(定員でメ切)

▲参加費 13,000円

▲申込先 ☎860 熊本市下通町上田ビル 日本アマチュア無線連盟九州事務局 ☎0963-25-8004

※問合せ先 伊万里市駅通り川良文具店(☎② 2459)

## 地元購買推進運動で標語募集

伊万里商工会議所は、次の要領で標語を募集します。

▲標題 地元購買意識が地域の社会経済の繁栄をあらわしているもの。

▲申込先 伊万里商工会議所  
☎848 伊万里市伊万里町甲57(☎③ 3104)

▲申込期限 8月5日(木)まで

▲応募資格 市民ならどなたでも応募できます。

▲応募点数 制限なし

▲優秀作品の発表 8月20日当所前の告示板にて

## 消防夏季点検

消防団員の志気の高揚と消防技術の向上を図ることを目的に夏季点検を行います。

市民の皆さんのご参観とご声援をおねがいします。

▲日時 8月22日(日)7時～11時20分

雨天の場合は8月29日(日)

▲場所 消防本部

## 応援します家づくり 住宅金融公庫(5.5%融資)

▲受付期間

7月27日～8月31日

◎個人住宅建設資金

◎建売住宅購入資金

※お申し込みは「住宅金融公庫業務取扱店」と表示した金融機関まで。

## 個人事業税(1期分) 納期は8月31日まで

◎今年度から新たに個人事業税

の課税対象に加わった業種

・不動産貸付業・デザイン業

・コンサルタント業・駐車場業

◎納税には便利な口座振替利用を!

◎ご相談は、武雄県税事務所

(☎09542 ③ 3103)

# 精霊流しは指定の場所で

## 河川の美化にご協力ください

お盆行事の一つとして精霊流しが行われますが、流された精霊船などが下流ではゴミとなって、川や海を汚す原因にもなっています。

市では流されたものを回収するため、時間や場所を指定していますので皆様のご協力をおねがいします。

### ▲精霊流しの日時

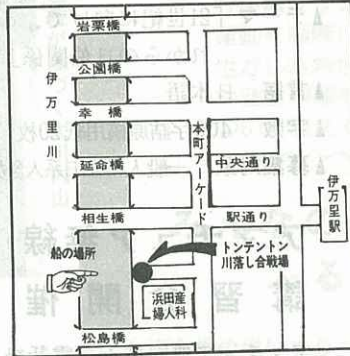
8月15日 午後8時～11時

### ▲精霊流しの場所 (図参照)

- ・水に浮くもの 岩栗橋から松島橋の間

- ・すぐ沈むもの 相生橋下流に(浜田産婦人科裏)船を準備し沖まで運びます。

### 精霊流しの場所



し尿汲み取り  
お盆は休業です

休業日8月14,15,16日(土～月)

※ごみ収集は平常どおり行います。ご協力ください。  
15日(日)は休業します。

### 8月の市民会館行事

- ・18日(水) 10時開演  
伊西地区同和教育講演会
- ・27, 28日  
巨峰大会 南波多農協
- ・29日(日) 14:30開演 800円  
イマリムジカコンサート
- ・29日(日) 9:00～17:00  
UFOフォークコンサート

※電気も1はて...無駄を省き効率よく使おう。冷房は2度を目安に調整しよう。

## 人権と子どもII

### (家庭同和教育のすすめ)

同和教育については、幼年時から正しく指導する必要があります。

今回は家庭同和教育の人権作文を紹介します。

### ぼくのおねがい 小5、S生

ぼくの学級には、差別されている人がいます。ある日、先生が『あしたは、家庭科の実習をします。』とおっしゃいました。

そして、「今から、グループを作ります。自分のグループに誰かきても、わあとか、いやだとかいった顔をしないでください。」と、つけ加えられました。ところが、あるグループの名前をいわれた時です。口がすべって、友だちとぼくは、「ああよかった。あの人のこらっさんやったけん。」と、とびあがるようによろこびました。

ところが、その人の方を見たばかりは、はっとしました。うつむきかげんのその人が、もし、ぼくだったらどんなだろうと考えさせられたのです。何も言わないで、ただ、だまっているだけですが、心の中では、どんなだろう。

口や顔には出されないが、くやしくて、くやしくて、泣きたい気持ちも知れない。ぼくは、よかったと思ったことが、なんだかはずかしくなってきました。

その日の夕飯のときに家で話しました。おかあさんは『いいことに気がついたね。』と、いって次の話を聞かせてくれました。

昔、日本がさむらいの世の中だった頃、差別がひどくて、おなじ人間でありながら仲間に入れられず、ひどい差別をうけていた人がいたと

いうことでした。その差別が今なお残っていて、立ちあがろう、立ちあがってもらおうという教育が広がっており、国でも力をいれているということです。(後文省略)

この人権作文は、家庭同和教育がなごやかな親子の対話の中で進められているのが目に浮かびます。

きっと、S君も、お母さんも学校や社会で差別解消の中心となって頑張ってくれるものと思います。

同和教育推進の基盤は家庭です。子ども達は、学校で差別に対する正しい理解のもとに、お互いを大事にし、生活の中に存在する差別をなくす実践力をつけています。

同和教育を徹底させるためには、家庭や社会の協力がなければ効果がありません。どうぞ、家庭の皆さんが同和教育の正しい認識をもって人間尊重に徹した家庭同和教育を進めて下さるようお願いいたします。

(社会教育課)

# 豊かな伊万里市をあなたのアイデアで

## — 6万市民総市長アイデア運動 —

- ◎伊万里市では市政へのあなたのアイデアを募集しています。
- ◎はがきでの一言アイデアや論文など詳しくは市役所企画課へ。

### 納涼花火大会は8月10日

夏の夜の風物詩、市民納涼花火大会が今年も8月10日、伊万里川河畔で行われます。(雨天順延) 打ち上げは、8時頃から1時間、約1,600発が予定されています。ご家族おそろいでぜひお出かけください。なお当日は混雑をさけて、車でのお出かけはなるべくご遠慮ください。



★危険な子どもの花火には親の注意が必要です。

### 第8回

## 私のアイデア貯金箱コンクール

楽しい夏休みの思い出に貯金箱を作ってみませんか。

- ▲主催 郵政省
- ▲応募者 小学生及び中学生
- ▲作品 材料自由、25cm以内
- ▲期限 9月11日(土)まで
- ▲受付 学校を通じて近くの郵便局に提出
- ▲発表 10月中旬に通知します  
郵政大臣、文部大臣賞などがあります。

※詳しくは、学校または郵便局にお尋ねください。  
(伊万里郵便局貯金課③3290)

次の方からご寄付をいただきました。  
厚くお礼申し上げます。(敬称略)  
社会福祉事業費へ  
◆香典返しを寄付

- ・原田大太郎(亡母ツ子 山代町西分)
- ・吉田満一(亡次男敬介 黒川町浦方)
- ・山口イワ(亡夫量 山代町久原二区)
- ・辻小太郎(亡弟正之 山代町西分)
- ・脇山文吾(亡母ハルミ黒川町椿原)
- ・山本領造(亡妹嘉子 上黒尾町)
- ・力武昭七(亡母ハル 脇田町平山)

ありがとうございました

ありがとうございました

- ・前田満雄(亡父俊一 大川内町市村)
- ・山田比奈子(亡母ツヨ 北海道札幌市)
- ・松本九治(亡母ナミ 波多津町浦)
- ・泉 久男(亡父国太郎 黒川町小黒川)
- ・山下直文(亡母ミネ 栄町)
- ・川島ミツ(亡夫茂男 松浦町藤川内)
- ・村山英明(亡母サミ 松島町)
- ・大森紀差代(亡母クニ 立花台一丁目)
- ・松尾正己(亡叔父寅六 大川内町吉田)
- ・小笠原静夫(亡父丈次 大川内町大川内山)
- ・川口敏也(亡母麗子 松浦町宿分)
- ・前田信隆(亡父茂美 南波多町大川原)
- ・前田満雄(亡母サヨ 二里町川東)
- ◆篤志寄付
- ・二万円 川棚秀夫(二里町大里 病氣見舞返として)
- ・五万円 松尾行雄(瀬戸町中通 病氣見舞返として)
- ・一万円 牧野敏昭(東京都新宿区)
- ・一万円 松尾勝馬(黒川町福田 交通遺児に対する激励金)
- ・吾三、三郎、市民ゴルフ大会代表西田

良太(大会のチャリティショー益金を)  
教育振興奨励基金へ

- ・福田萌彦(亡父一郎 大川内町大川内山)
- ・土井弘道(亡父弘次 西有田町大木)
- ・大川内小学校(指定)
- ◆篤志寄付
- ・二万円 松瀬フジ(二里町八谷瀬 病氣見舞返として)
- ・体育振興奨励基金へ
- ・一万円 中島紘一(新天町)
- ・明るいまちづくり推進資金へ
- 【二里公民館】
- ◆篤志寄付
- ・二万円 松瀬フヂ(東八 病氣全快祝に)
- ◆香典返しを寄付
- ・吉永洋雄(亡父貞雄 二里町川東)
- 【牧島公民館】
- ◆篤志寄付
- ・三万円 松尾行雄(瀬戸町中通 病氣見舞返として)
- ・消防本部へ(施設整備費として)
- ・種渡豊子(亡夫三代治 大坪町柳井町)
- 市立図書館へ
- ◆図書寄贈
- ・斉藤正雄(浜町)・湖上さえ子(新天町)
- ・江向康子(大川内町市村)
- ・丸田環海(黒川町浦分)

### 編集後記

瀬戸町の方からはがきで、広報の保存用ファイルを作ったりと提案がありました。読み捨てにされるものだと思っていたのでたいへん嬉しかったのですが、予算の範囲もあり、いずれ実現したいと考えています。またご意見をお寄せください。

# こどものページ



## 休館のお知らせ

8月13、14、15日は本の消毒のため図書館はお休みです。

## 七夕に願いをこめて

養護学校と大川内小学校の交流集会

7月7日は七夕さま。織姫と彦星の話は知っていますか。

知らない子は、お父さんかお母さんに話してもらいましょう。

7月9日、大川内小学校（校長中島信行、児童259名）と伊万里養護学校（校長八田定、児童78名）は、大川内小学校で七夕の飾付けやおゆうぎ、ゲームなどをして楽しい七夕交流集会をひらきました。

大川内小学校は、心身障害児理解推進校として、56年度から文部省の指定を受け、養護学校と交流を重ねてきました。

子どもたちが障害者を理解し友達として仲間意識を育て、差別しない教育を進めるためには一緒に遊び、ふれあうことが一番大切です。

これまでもクリスマス集会

いも掘り、川遊びなど40回ほど交流をしました。

始めのうちは、なかなかじめず、友達になれなかったのですが、今では和気あいあい、すっかりお友達になれたようです。

体育館には「養護学校の人と

もっと仲よくなりたい」「しあわせになれるように」とかかれた短冊が飾ってあり、「笹の葉サーラサラ、のきばにゆれるお星さまキラキラ……」と子どもたちの明るい歌声が流れていました。



▲はつらつと劇を発表する養護学校の生徒たち

## ぼくのおばあちゃん

波多津小三年 高森まこと



▲辻にお住まいの高森ナミさん

おばあちゃんは、毎日のように畑仕事をしています。もう81さい。だけど元気にピンピンしています。

おばあちゃんは、ねるのも起きるのも早くてすぐに仕事にかけます。それもぼくたちが、起きていないうちに出かけます。なぜそんなに早いかというと、

屋の一時ごろにゲートボールに行かなきゃいけないからです。

ゲートボールからは、午後5時ごろに帰って来ています。

ゲートボールってそんなにもしろいのかなあ……。

これからも一日、一日を元気にピンピンしてすごしてもらいたいと思います。